

口琴の使い方

写真のようにバネに触れないようにフレームをもちます。
フレームの先端部分を少し口を開けた状態で前歯に押し当て、バネ先を軽く内側に弾いてください。

音色とピッチは舌の動きによって変化させることができます。
また、バネの振動中に軽く息をはくことでより大きな音が出せます。
2オクターブまでであれば、どのような曲も演奏することが可能です。

鏡の前で少し練習すれば、簡単に覚えることが出来るでしょう。
口琴は熱処理加工を施した酸素工具鋼を材料としているため、使用後には乾いた布で拭くと良いでしょう。

また、長く使用していただくために、たびたびパラフィンオイルをしみ込ませた布で拭く事をお勧めします。

口琴のフレームとバネはとても繊細に調律されていますので、物理的な衝撃にはくれぐれもお気をつけください。

www.doromb.com

